

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.869  
2020.3.15

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき とば めぐみ  
とりうみ敏行 金子 あきよ  
松村 としお たけこし 連  
久保 みき

## 予算委員会 総合政策①



# 債権回収は生活困窮者に心寄せ

び収入未済額の圧縮を図ることを目標とする」職員の責務として、「滞納者が有する特殊性を考慮しつつ、組織をあげて全力で債権回収に取り組まなければならない」とありますが、久保市議は「本当に生活困窮者の立場にたってとりくんでいるのか、はなはだ疑問である」と市の姿勢を問いました。

この間、党市議団は、債権回収課による強権的な取り立てに苦しむ市民の声を受け、その人の人生を破滅させるような取り立てはおこなうべきではないと訴えてきました。また滋賀県野洲市を視察し、債権回収と生活再建を組み合わせた制度への転換を提起してきました。野洲市の債権管理マニュアルには、「生活困窮者の支援」という項目があり、債権回収を的確におこなうには滞納者を生活困窮から脱出させることが重要としています。

久保市議はこれらのとりくみを紹介し、「市

2月議会は新年度予算の審査がおこなわれています。2月27日は久保みき市議が総合政策委員会関連(1日目)で質疑に立ちました。

質疑により、新年度は今年度と比べて市民の所得が減ることが明らかになりました。久保市議は、物価の上昇に代わって消費税の増税もあり、市民のくらしは大変であると指摘。「税金を払いたくても払えない方は増えていくのではないかと懸念しました。

さいたま市の債権回収対策基本計画には、「積極的に債権回収を進め、収納率の向上及

## 新型コロナウイルスで休校

# 保護者や学童に大きな負担

安倍首相の突然の「全国一斉休校」要請を受け、さいたま市教育委員会は3月2日から市内小・中学校および市立高校を一斉休校にしました。

休校を受け、学童利用児童、保護者が病気加療中の場合などは学校で受け入れることとなりました。ただし、「独立行政法人日本スポーツ振興センターの給付対象にならない」とのことで、保護者は「給付の対象とならない旨を了承した同意書」を記入し、子どもを預けました。

ところが3月3日、緑区の保護者から「学校での子どもたちの過ごし方がひどい」などの声が市議団に届きました。私語や立ち歩きは禁止、図書室の本は貸さない、校庭の使用は禁止、学習プリントなども用意しない、教員は子どもたちを監視しているだけなどの状況が報告されました。

松村としお市議は寄せられた声を教育委員会に届けるとともに、各学校の状況をつかみ、子どもたちの過ごし方を改善

するよう、またスポーツ振興センターの給付対象とするよう申し入れました。3日夜、教育委員会より「給付対象となった」旨の一斉メールが保護者に届きました。

また、松村市議、金子あきよ市議がそれぞれ地元の学童保育を視察。支援員から「体制を整えて朝8時から学童を開けるようにしたが、1日1万200円では人件費にも満たない」「マスクや消毒用アルコール、トイレトーパーなどの物資不足が不安」などの声を聞きました。

そのため、2月議会の予算委員会で、国が示している補助額(朝から開所した場合に1学童あたり日額1万200円)の増額と、マスクなどの物資の支援を求めました。その後、追加補助額が3万200円に増額、市が備蓄していたマスクの配布も決定となり、安堵の声が広がっています。みなさんの要望や情報をお寄せください。

の計画にも『生活困窮者の支援』の項目を入れるべき」と迫りました。市は「福祉課とも連携していく」と答弁しましたが、計画に「生

活困窮者の支援」を入れることについては最後まで後ろ向きでした。



## 予算委員会 総合政策②

# 働く環境の ジェンダー平等をめざして

2月28日、予算委員会でたけこし連市議が総合政策委員会関連(2日目)の質問に立ちました。

### 女性管理職の目標は50%に

内閣府は2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%とする目標を定めていますが、さいたま市の行政職の女性管理職の率は12.2%です。たけこし市議は、「女性が意思決定の場においてこそ、女性の声が政策に反映される」と強調し、目標設定を50%に引き上げることと、達成のための具体的手立てを求めました。市は、監督職や課長級の登用率を上げながら、次長級等にも登用していくと答弁しました。

### 男性の育休取得をすすめて

2018年度の市職員の育休取得率は、女性が99.4%、男性は16.1%、平均取得期間が女性が19カ月、男性が2.6カ月です。

たけこし市議が男性の育休取得に向けたとりくみについて質すと、市は育休制度の啓発や子育て支援制度の周知等をおこなっていると答弁。たけこし市議は、「男性の育休取得

が進まない根本には、男女の賃金格差、性別役割分業意識がある」と指摘し、男性も女性も安心して子育てができる育休制度の充実と職場の人手不足解消を求めました。

### 公務員のブラックな働き方なくせ

さいたま市は、年間総時間外勤務時間を360時間未満にする目標に対し、職員の81.9%が達成、2割弱の職員が超過しています(2018年度)。たけこし市議は、民間企業の20代労働者が過労死した実態を示し、本市がブラックな働き方をなくす模範を示していく必要性を訴えました。

### 新型コロナ 休業・営業補償を

市は新型コロナウイルス対策として、中小企業に対し、緊急融資を打ち出しています。たけこし市議は、さらに営業補償と、仕事を休まざるを得ない労働者に対する休業補償について国に求めるよう質しました。市はどちらも検討していないと答弁しましたが、商店街振興の中小企業支援として「検討は進めていきたい」と答えました。

このほか、防災倉庫の拡充とエアーマットの備蓄、商店街活性化対策についてもとりあげました。

## 議案外質問 文教

# 六辻公民館にエレベーターがつかない?!

2月18日、2月議会の文教委員会で、久保みき市議が議案外質問にたち、六辻公民館のエレベーター設置問題を取りあげました。

さいたま市は入り口が2階にある公民館にエレベーター設置を進めています。ところがその対象である六辻公民館(南区)でいよいよ来年度からエレベーター設置工事がおこなわれるかというときに、設置できないことが明らかになりました。

久保市議の質疑に対し、市が2018年に基本設計業務をおこなったところ、増築している箇所があることが分かり、建築基準法に



基づく追加調査をして既存建物の柱や基礎等の補強が必要だということが判明したことが、現実的に基礎部分の補強というのは相当な金額がかかり、エレベーターの設置が不可能と説明しました。久保市議は六辻公民館の建て替えを強く求めました。また、今年度基本設計をおこなった大久保公民館においては順調に進んでいることを確認しました。

サクラソウの保全については、サクラソウの芽吹きが見られたこと、予算が倍増したことで外来種のトウネズミモチの伐採が実現したことを確認しました。その他、知的障害特別支援学校の教室不足についても質問しました。

サクラソウの保全については、サクラソウの芽吹きが見られたこと、予算が倍増したことで外来種のトウネズミモチの伐採が実現したことを確認しました。その他、知的障害特別支援学校の教室不足についても質問しました。

## 議会報告会 延期のお知らせ

4月10日(金)に予定していた党市議団の2月議会報告会ですが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、延期といたします。今後の日程につきましては決まり次第、ご案内します。2月議会は3月19日まで開会されますが、最後まで全力でとりくみます。

## あなたの身近な議員です



市議(北区) 市議(浦和区) 市議(緑区) 市議(桜区) 市議(見沼区) 市議(南区) 市議(中央区)  
神田よしゆき とりうみ敏行 松村としお 久保 みき とばめぐみ 金子あきよ たけこし連